

【優勝までの軌跡】

1回戦 試合会場 等々力硬式野球場

チーム名	地区	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
戸塚アイアンボンドス	横浜	0	0	0							0
有馬フレンズ	川崎	6	4	×							10

初回、先頭打者にスリーベースを浴びノーアウト3塁のピンチを迎えるが、後続を断ち無失点で切り抜ける。

その裏、先頭打者のランニングホームランを皮切りに、四球、死球も絡めノーアウト満塁と攻め立て、安打、スクイズで6得点。主導権を握る。

2回には4番のスリーランランニングホームランも飛び出し押し寄せとなり4点追加。

3回表もきっちり締め、コールドで初戦を飾った。

2回戦 試合会場 御幸球場

チーム名	地区	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
有馬フレンズ	川崎	2	2	4	2	0	2				12
上深谷ジャガーズ	綾瀬	0	0	3	0	1	0				4

初回、相手の失策に乗り2点を先制。

2回も四球、7番のツーベース等で得点を重ねる。

3回、3番のランニングホームランを皮切りに連打でチャンスを作り、相手失策で追加点を奪う。

3回裏、相手の上位打線が繋がりに3点を返される。

しかし、4回以降も小刻みに得点を重ね、危なげなくベスト8進出を決めた。

3回戦 試合会場 大師球場

チーム名	地区	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
相模ブルーバズ	相模原	2	0	0	0	0	0				2
有馬フレンズ	川崎	0	2	2	0	1	4				9

初回、先発が制球に苦しみ先制を許す。

2回裏、下位打線がチャンスを作り、8番がレフトオーバーのヒットを放ち同点に追い付く。

3回裏、2番、3番の連続ホームランで逆転に成功。

6回表、2、3塁のピンチを迎えるも、無失点で切り抜ける。

6回裏、打線が繋がりに押し寄せとなり、一挙4得点。コールド勝ちでベスト4にコマを進めた。

準決勝 試合会場 大師球場

チーム名	地区	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
有馬フレンズ	川崎	0	0	0	4	4	0	2			10
相模台レッドジャガーズ	相模原	0	1	1	0	0	0	1			3

相手ピッチャーにうまくかわされ、3回まで打線が沈黙。その間に2点を先行される。

4回、1番のツーベース、2番送りバントが野選を誘い、ノーアウト2・3塁のチャンス。

3番が期待に応え、レフトオーバーのヒットで同点に追い付く。その後も打線が繋がりに逆転に成功。

5回、9番がヒットで出塁、その後フォアボールも絡みノーアウト満塁と攻め立てる。3番は三振に倒れるも、4番が豪快なグランドスラムをレフトスタンドに叩き込み点差を広げる。

7回、3番のツーランホームランでダメ押し、決勝進出を決めた。

決勝 試合会場 大師球場

チーム名	地区	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
座間フェニックス	座間	0	0	0	1	0	0	0			1
有馬フレンズ	川崎	1	3	0	1	0	2	×			7

準決勝で互いにエースを使い、先発は2番手同士の投げ合いで幕を開ける。

1回裏、1番がヒットで出塁すると、盗塁、送りバントでワンアウト3塁のチャンスを作る。

3番は内野ゴロに倒れるが、1番がその間に先制のホームを踏む。

2回、7番のヒットから相手のまずい守備も重なり満塁と攻め、犠牲フライ等3得点で試合を優位に進める。

4回、相手の上位打線が繋がりに1点を返されるも、その裏2番のセンターオーバーで取り返す。

6回、3番がライトスタンドにツーランを放ち、試合を決定づける。そのまま試合終了、優勝！

好調な打線とともに、2番手投手の好投が光った1戦だった。

区名	宮前
チーム名	有馬フレンズ
報告者	田上 喜一郎
報告日	2015/6/7